

第3次岩倉市子ども読書活動推進計画（案）パブリックコメントに寄せられた意見と市の考え方・対応方針

番号	項目	意見の概要	市の考え方・対応方針
1	全体	読書は小さい頃から習慣にしないと続かない。子どもの近くにいる大人たちへの働きかけを期待する。	ご意見のとおり、子どもの近くにいる大人たちへの働きかけはとても重要であると思います。小さな頃から大人と一緒に読書をしたり、大人が読書をする姿を身近に感じることは、子どもが読書習慣を身につけるうえでとても大きな影響を与えていると思います。今後は、保健センターで開催されるパパママセミナーなどで読み聞かせの大切さを伝えるなど、子どもの近くにいる大人たちへの働きかけに努めていきたいと思っています。
2	全体	子どもたちが楽しめるイベントのようなものをもっと増やしてほしい。子どもたちが図書館に行きたいと思わせることが大切である。	ご意見のとおり、子どもはイベントなどをきっかけに図書館に足を運ぶようになることがあるため、子どもたちが興味を持ち、楽しむことができるイベントなどを充実することが大切であると思います。子どもたちが参加しやすいイベントなどを数多く計画し、イベントを通して図書館を好きになってもらえるよう努めていきたいと思っています。
3	全体	今の中学生は本を読まない。時間がなくても本は読めること、読んでよかった、面白かったという感動を教えてあげてほしい。	ご意見のとおり、本をあまり読まない中学生に対しては、少しの時間で読めて、面白く感動することができる本などを紹介しながら、読書へのきっかけを与えることが大切です。中学生を含めすべての子どもたちに読書の楽しさを伝えることができるよう取り組んでいきたいと思っています。